

全会計を黒字で認定

平成18年度決算を審議

9月定例会

9月定例会は、9月10日に招集され、27日までの会期で開かれました。今回の定例会（第4回）では、平成18年度一般会計・各特別会計の決算認定をはじめ、平成19年度一般会計・特別会計補正予算（9月補正）、神石高原町来財財産区管理委員選任の同意についてなど18議案が提出されすべて原案どおり可決しました。

また地方財政の充実・強化を求める意見書が提出され採択されました。一般質問では、12名の議員が当面する行政課題をたてました。

6億8、523万円（全会計）の繰越し

9月定例会に提案された各会計決算は、新町として2年目の通年予算のもとで予算執行されたものです。

一般会計をはじめとする各会計の歳入歳出決算の認定については、10日監査委員の意見書をそえて提案されました。平成18年度の予算について、適正に執行され、目的を達成できたかを主眼に慎重に審議し、本会議にて採決の結果、全員の賛成

で各会計の歳入歳出決算を認定しました。

決算総額は、歳入で1

75億3、296万円、

歳出で168億4、7

72万5千円となりました。

平成17年度の決算と

比べて歳出で2億993

万4千円の減少（▲1・

1%）となっています。

歳入から歳出を差引いた

6億8、523万6千円

（明許繰越分を含む）は

平成19年度会計へ繰り越

されました。

各会計の歳入歳出決算の状況は、表のとおりです。



平成18年度かがやき事業
神石高原町
「まちづくり大放談会」

平成18年度各会計別決算総括表

単位：万円（四捨五入）

会 計 名 称	歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計	110億6,432	107億6,785	2億9,647
特 別 会 計	64億6,865	60億7,987	3億8,878
国 民 健 康 保 険	13億3,454	12億7,298	6,156
事 業 勘 定	13億2,843	12億6,744	6,099
診 療 施 設 勘 定	611	554	57
老 人 保 健	25億2,736	23億7,771	1億4,965
介 護 保 険	16億7,299	16億 505	6,794
簡 易 水 道 事 業	2億3,000	2億2,176	824
飲 料 水 供 給 施 設 事 業	3,585	3,033	552
農 業 集 落 排 水 事 業	2億5,415	2億4,422	993
観 光 施 設 事 業	4億1,373	3億2,780	8,593
分 収 育 林 事 業	3	3	0
合 計	175億3,296	168億4,773	6億8,524

決算審査報告

審査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調査並びに財産に関する調査は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿、その他証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

引き続く極めて厳しい財政事情のなかで、一般計歳入及び各特別会計とも黒字をもつて翌年度に引き継がれたことは高く評価する。

審査を通じて気付いた次の事項について検討・反映されることを望む。

① 税等滞納処理について

税など滞納が大幅に伸びている。特に現年度分が顕著であり、この要因を分析すると共に、法的処置で臨まれるように切に望む。

② 事業の取捨選択について

事業導入に情性が見受けられる。成果と課題を検証し、費用対効果を基に置いた取組みを望む。

③ 随意契約について

業務委託等相当な随意契約が見受けられるが、競争入札による契約を拡大されたい。

神石高原町監査委員

岡崎 武志
瀬尾 征爾

監査意見書提出